



当社の社名「Delta-Fly」は
「Dragonfly（とんぼ）」に由来しています。

第三者割当による行使価額修正条項付第8回及び第9回新株予約権の発行に関する説明資料

2024年9月20日

Delta-Fly Pharma株式会社
(東証グロース:4598)

今回の資金調達は研究開発、治験の進展を図ることを目的に行うもの

目的

財務の安定性を確保しながら、研究開発を推進

資金使途

DFP-10917+VEN 併用の臨床第1/2相試験の研究開発費	500 百万円
DFP-10917の臨床第3相試験の研究開発費及び承認申請関連費用	200 百万円
DFP-14927の臨床第1相拡大試験の研究開発費用	200 百万円
開発体制・管理体制の強化（報酬・人件費等）及び特許関連費用等（関連経費）	302 百万円

(※)各資金使途の総額は、本新株予約権の発行価額の総額に、本新株予約権が全て当初行使価額で行使された場合における金額を合算した金額から、発行諸費用15.4百万円を差し引いた手取概算額を記載しております

第8回及び第9回新株予約権による資金調達を実施

		第8回新株予約権	第9回新株予約権
資金調達総額(※1)		約12.02億円(当初行使価額ベース)	
各資金調達(※2)		約7.91億円(当初行使価額ベース)	約4.26億円(当初行使価額ベース)
潜在株式数		1,500,000株	500,000株
潜在希薄化率(※3)		18.2%	6.1%
権利行使可能期間		2年間(割り当て日の翌取引日から2026年10月7日まで)	
行使価額	当初	527円(発行決議前日の終値の93%)	850円(発行決議前日の終値の150%)
	上限	なし	
	下限	284円(発行決議前日の終値の50%)	
	行使価額の修正	各行使請求日の前取引日の終値の93%に相当する額に修正 (ただし、下限行使価額は下回らない)	行使価額は当初固定ですが、当社取締役会決議により行使価額の修正条項の適用を決議した場合には、各行使請求日の前取引日の終値の90%に相当する額に修正 (ただし、下限行使価額は下回らない)
不行使期間		当社は本新株予約権の行使期間中、不行使期間を合計4回まで設定可能。1回の不行使期間は10連続取引日以下とする	
取得条項		当社取締役会の決議に基づき、本新株予約権の払込期日の翌日以降いつでも、20取引日前までに本新株予約権者への通知により、残存する本新株予約権の全部又は一部を本新株予約権の発行価額相当額で取得可能	
割当先		マッコーリー・バンク・リミテッド	

(※1)資金調達総額は、本新株予約権の発行価額の総額に、本新株予約権が全て当初行使価額で行使された場合における金額を合算した金額から、発行諸費用15.4百万円を差し引いた手取概算額を記載しております

(※2)各資金調達は、各新株予約権の発行価額の総額に、各新株予約権が全て当初行使価額で行使された場合における金額を合算した金額を記載しております

(※3)2024年6月30日現在の当社発行済普通株式総数 8,229,900株に対する割合です

本新株予約権に関する詳細は、本日公表のプレスリリース「第三者割当による行使価額修正条項付第8回及び第9回新株予約権の発行に関するお知らせ」をご参照ください

1. 本新株予約権に関する背景と目的

- 今回の第三者割当による新株予約権発行に際し、前回及び前々回の実績を考慮した結果、マッコーリーキャピタル証券会社及びマッコーリー・バンク・リミテッドから資金調達のストラクチャー・基本条件の提案、設計されたスキームが、当社の資金調達ニーズを満たすものであると判断。また、これまでのグローバルな活動実績や保有方針等を総合的に勘案し、本新株予約権の第三者割当の割当予定先としても適切と判断

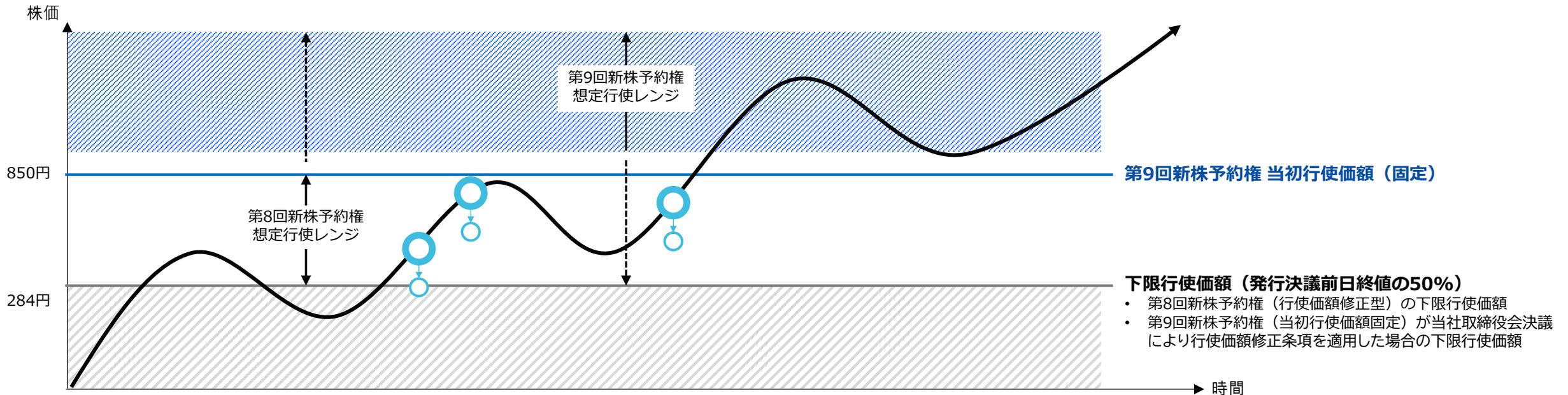
2. 異なる2つの新株予約権発行の効果

- 行使価額修正型の第8回新株予約権を発行により、足元の資金需要充足を企図
- 行使価額固定型(行使価額修正条項付)の第9回新株予約権の発行により、当社がターゲットとする850円での資金調達を目指す
 - 第9回新株予約権については、株価が当初行使価額を大きく上回って推移した場合に、行使価額修正条項の適用を決議することで、その上昇メリットを当社が享受できないリスクを回避
- 第8回新株予約権・行使価額修正条項適用後の第9回新株予約権については、株価下落時においても行使価額が下限行使価額を上回る限りにおいては、割当予定先による本新株予約権の行使が期待され、当社の予定する資金調達を円滑に行うことが可能

3. 希薄化に対する合理的判断

- 行使価額修正型及び行使価額固定型を組み合わせた本スキームにおいては、希薄化の発生が新株発行対比で段階的
- 将来的に当社の資金ニーズが後退した場合や資本政策方針が変更になった場合等、本新株予約権を取得することにより、希薄化を防止できるほか、資本政策の柔軟性も確保可能

第8回新株予約権	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 当初より行使価額修正条項が適用 ▪ 株価が下限行使価額を上回って推移している限りにおいて、行使期間中の株価動向に応じた行使が期待でき、資金調達の蓋然性を高めることが期待できる ▪ 株価が上昇した場合においても、その上昇メリットを当社が享受可能
第9回新株予約権	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 当初行使価額は固定(当初行使価額は850円) ▪ 当社取締役会決議により行使価額修正条項の適用を決議することが可能 <ul style="list-style-type: none"> ○ 株価が当初行使価額を上回って推移した場合に、その上昇メリットを当社が享受できないリスクを回避 ○ 株価が当初行使価額を下回って推移する場合においても、当社資金ニーズに応じて行使価額修正条項の適用を決議し、資金調達の蓋然性を高めることが可能



今後のスケジュール

開発品	開発地域	開発段階	上市後の最大年間製品販売予測 (億円)	公表時点	2023年3月期	2024年3月期		2025年3月期		2026年3月期		2027年3月期		2028年3月期		2029年3月期以降
					下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
DFP-10917	USA	自社 P-3	Global 1200	今期計画	P-3 試験中 <フォローアップ・解析>				申請準備予定	上市見込み						
				前期公表分	P-3 試験中		申請準備予定		上市予定							
	今期計画	P-1/2 試験開始														
	前期公表分	P-1 試験中														
DFP-14323	Japan	自社 P-3	国内 100	今期計画	P-3 試験準備			P-3 試験開始 <フォローアップ・解析>				申請準備予定	上市見込み			
				前期公表分	P-3 準備・試験予定				申請準備予定		上市予定					
DFP-17729	Japan	自社 P-1/2	国内 50 × n	今期計画	P-1/2 試験中		P-3 準備・試験予定			申請準備予定	上市見込み					
				前期公表分	P-1/2 試験中		P-3 準備・試験予定		申請準備予定		上市予定					
DFP-11207	USA, Japan	自社 P-2 準備	Global 1000	今期計画	P-2 準備					P-2 試験予定						
				前期公表分	P-2 準備			P-2 予定		P-3 準備・試験予定						
DFP-14927	USA	自社 P-1拡大	Global 300	今期計画	P-1 試験完了			P-1 拡大試験開始								
				前期公表分	P-1 試験中			P-1 拡大試験予定								
DFP-10825	USA, Japan	自社 P-1 準備	NA	今期計画	前臨床試験終了	P-1 準備										
				前期公表分	前臨床試験終了	P-1 準備										

注1 「上市後の最大売上高予測」は、「薬事ハンドブック2024(じほう)」より、当社における1年間での最大製品販売額(死亡者数×類似疾患医薬品薬価×独自係数)にて算出しました。また、当該製品販売額は各パイプラインのライセンスアウト後におけるロイヤリティ収入等を予測したものであり、将来的には変動することがあります。

注2 開発品の製造・販売承認については、開発地域の規制当局からの承認が認められた場合、順次その他の地域(例えば:米国、欧州、アジアなど)の拡大を見込んでおりますが、その他の地域の規制当局による承認が必要となります。

注3 今回、表記の変更を行っております。開発パイプラインのスケジュールを示すにあたり、時間軸を分けて表記することで、開発の進捗に影響があるかのような誤解を避けるため、表記変更を行いました。また、承認(上市)は規制当局の判断によるものであり、通常承認や早期承認など様々なケースがあり、今回から「上市見込み」として記載を変更しました。したがって、当社は承認申請準備に向け臨床開発を推進しており、上市に向けた方針の変更はございません。

注4 上記、開発段階について、前回公表時から更新されております。

現時点における調達資金の修正後の充当状況

(単位:百万円)

資金調達	調達額 (実績・予定)	資金使途	充当額	使用期間
第4回新株予約権 (全て行使済み)	988	DFP-14323の臨床第3相試験の研究開発費 DFP-17729の臨床第1相及び第2相試験の研究開発費 開発体制・管理体制の強化(人件費)及び特許関連費用等(経費)	988	2021年4月～2024年3月 2021年4月～2023年3月 2021年4月～2022年3月
第5回、第6回新株予約権 (全て行使済み)	1,310	DFP-10917の臨床第3相試験の研究開発費 DFP-14323の臨床第3相試験の研究開発費 開発体制・管理体制の強化(人件費)及び特許関連費用等(経費)	867	2022年12月～2024年3月 2023年4月～2025年9月 2022年12月～2024年3月
新株式 (払込済み) 第7回新株予約権 (全て行使済み)	1,443	DFP-17729の臨床第1相/第2相試験及び次試験の研究開発費 DFP-11207の臨床第2相試験の研究開発費 DFP-14927の臨床第1相試験及び次試験の研究開発費 DFP-10917の臨床第3相試験の研究開発費及び承認申請関連費用 開発体制・管理体制の強化(報酬・人件費)及び特許関連費用等(経費)	367	2023年11月～2028年3月期 2024年4月～2028年3月期 2023年11月～2025年3月期 2023年11月～2026年3月期 2023年11月～2025年3月期
合計	3,741		2,222	

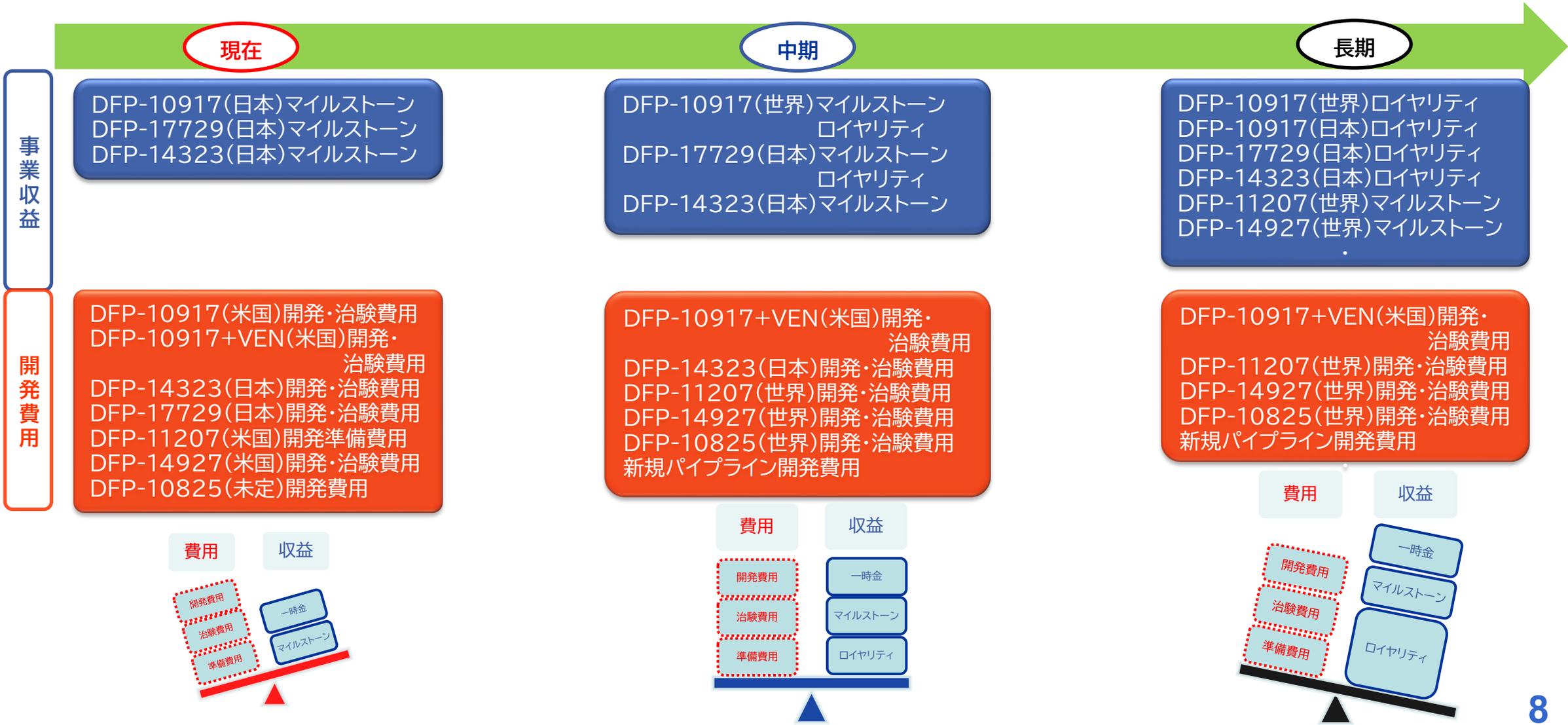
(単位:百万円)

対象	調達額	内容	充当額	2024年6月末までの充当状況
DFP-10917	870	臨床第3相試験の研究開発費及び承認申請関連費用	750	実施中
DFP-11207	180	臨床第2相試験の研究開発費	0	実施中
DFP-14927	150	臨床第1相試験及び次試験の研究開発費	132	実施中
DFP-14323	1,191	臨床第3相試験の研究開発費	748	実施中
DFP-17729	1,000	臨床第1相/第2相試験及び次試験の研究開発費	358	実施中
人件費及び経費等	350	開発体制、管理体制の強化、特許関連費用等	234	実施中

(※) 本日公表のプレスリリース「第三者割当による行使価額修正条項付第8回及び第9回新株予約権の発行に関するお知らせ」に基づいて記載しております

(※) 下表の各対象における調達額及び充当額は、第4回、第5回、第6回、第7回新株予約権及び前回の第三者割当新株式の本日修正分の合計を記載しております

企業価値向上を目指すため、手持資金、世界(欧米・アジア)・日本でのライセンスフィーの獲得、株式市場からの資金調達等により開発資金の確保を実施し、開発投資を計画的に行いパイプラインの上市を目指し、収支バランスのコントロールをしつつ、収益拡大を目標とする方針です



- 本資料は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘(以下「勧誘行為」という。)を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。
- 本資料は、当社に関する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来に対する見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の結果が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。



IRに関するお問い合わせ先

Delta-Fly Pharma株式会社 東京オフィス

E-mail info@delta-flypharma.co.jp

URL <https://www.delta-flypharma.co.jp/>